

学校運営委員会だより



ようがの学び舎 世田谷区立京西小学校
学校運営委員会 委員長 溝口 純

子どもたちの健やかな成長を願って

満開の桜のもと新学期が始まりました。昨年度は5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行され、様々な授業や行事が復活し、学校生活がより一層活気づきました。一方で、異例の時期からインフルエンザが流行するなど体調管理の難しい1年でもありました。年度が変わりましたが、3学期を少し振り返ります。

このゆびとまれ ～ 紙飛行機・ブーメラン作り

3月16日、令和5年度最後の「このゆびとまれ」では、図工室で紙飛行機とブーメランを作りました。子どもたちはサポーターの皆さんから様々な折り方を教わり、思い思いの紙飛行機を作りました。ブーメランは色付けにそれぞれの個性が光りました。完成品を持って多目的室へ移動し、実際に飛ばしてみました。ブーメランが弧を描いてちゃんと自分の手元に戻ってきた時には歓声が上がりました。



紙飛行機・ブーメラン作り
(このゆびとまれ)

修了式 ～ お世話になった先生方にお礼の挨拶を

3月22日は修了式でした。校長先生のお話の後、3月末で京西小学校を離れる先生方の発表がありました。先生方と子どもたちが、互いに別れを惜しむ姿が印象的でした。教室では先生から子どもたちに通知表が渡され、子どもたちからは、1年間の感謝の気持ちを込めて作成したメッセージカードが先生に送られました。



子どもたちから先生へ
(修了式)

第142回卒業式 ～ 5年ぶりに5年生全員参列

3月25日、101人の6年生が6年間の思い出と希望を胸に、中学校という新たなステージに向かって羽ばたいていきました。6年生の、式に臨むまなざしや態度、所作など、全てにおいて「さすが京西小のリーダー」と思わせる大変立派な姿に感動しました。我が子の成長ぶりに、保護者の方々の感慨もひとしおだったことでしょう。

参列した5年生も立派でした。今回は5年ぶりに全員参列しましたが、入退場曲の演奏や合唱、呼びかけで6年生への感謝の気持ちを伝え、在校生代表としての役割を見事に果たしました。5年生と6年生が共に歌った合唱曲「旅立ちの日に」は特に素晴らしく、美しい歌声が体育館中に響き渡りました。



6年生 門出の言葉 (卒業式)

全てが無事に終わると、緊張から解き放たれた6年生に晴れやかな笑顔が一斉に広がりました。あいにくの雨で校庭での見送りは出来ませんでしたが、代わりに廊下に花道を設け、先生方と保護者の方々が盛大な拍手で送り出しました。



5年生 呼びかけ (卒業式)

新リーダーの誕生 ～ 初仕事は新一年生を迎える準備

卒業生からリーダーのバトンをしっかりと引き継いだ新6年生は、始業式に先駆けて4月5日に登校し、新1年生を迎える準備をしました。これから京西小を引っ張ってくれる頼もしい存在になることでしょう。

今年度はいよいよ創立145周年です。今年度も子どもたちが元気に笑顔で安全に過ごせるよう、学校と家庭、地域が一丸となって子どもたちの成長を支えていきたいと思ひます。



卒業生退場 (卒業式)

学校運営委員・支援コーディネーター 活動報告

学校運営委員会は3学期も定例会を開催し、京西小学校やようがの学び舎、地域に関する意見・情報交換を行いました。2月の定例会は学校関係者評価委員会との合同開催でした。児童、保護者、地域、教員からのアンケート結果に基づく評価報告があり、様々な意見が交わされました。また、オンラインで参加したようがの学び舎・3校学校協議会では、各校より研修の実施報告や次年度の予定告知がありました。

その他、3学期に学校運営委員や支援コーディネーターが参加した活動の一部をご紹介します。

京西文庫

3学期も予定通り読み聞かせと図書室の装飾活動を行いました。ご参加いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

令和6年度も、この活動を通して子どもたちとの時間を共有し、読書や図書室が楽しくなるような環境づくりのお手伝いできればと思います。



グリーン



3学期も学校支援コーディネーター 宮口さんを中心に、第二校庭の芝刈りや傷んだ箇所を補修を行い、良い状態のグラウンドをキープしました。

令和6年度も子どもたちが芝生の上を元気に駆け回れるよう、しっかり管理していきます。

このゆびとまれ

3学期は1月にコマ作り、3月に紙飛行機・ブーメラン作りをしました。

令和6年度も様々な企画を用意しています。初回は5月の予定です。事前に配布するおたよりを見て、当日直接お越しください(予約不要)。

ご参加をお待ちしています。



1/20 コマ作り



3/16 紙飛行機・ブーメラン作り

令和6年度 第一回学校運営委員会は5月の予定です。今年度も3つのプロジェクト(京西アカデミー・京西文庫・グリーン)を中心に活動を進めてまいります。

「いまここを生きる」これは亡き母の最後の書の個展のタイトルです。4度の癌との壮絶な戦いを乗り越え、最後の力を振り絞って作品を書いていた母。その生き様は私の目に、今でも焼き付いています。その瞬間その瞬間を、全力で生きる、悔いなく生きる、思いを込めて生きる、そんな思いが込められた言葉です。

私が京西小学校で学校運営委員長だった3年間は、まさにコロナ禍の真っ最中から、少しずつ立ち直っていく時でした。学校運営委員会の活動も様々模索しながら、子どもたちのために、学校のためにとやってきました。その時その時を全力で取り組んでいた委員の皆さんの姿は、まさに冒頭の言葉さながらでした。私ができることは、そんな皆さんの背中を押すことぐらいでした。

これからも、学校と保護者と地域が一つになるための核として、学校運営委員会が活動していくことを切に願っています。3年間、ありがとうございました。



学校運営委員会
委員長 溝口 純

母の作品です。現物は縦2メートルもある大作です。

